

令和2年9月2日

学生の皆さんへ

盛岡大学・盛岡大学短期大学部 令和2年度後期授業形態について

学長 高橋俊和

盛岡大学・盛岡大学短期大学部は、令和2年9月23日から始まる後期の授業を、感染症予防対策を十分講じた上で、原則「対面授業」で実施します。

本学では、国・県が示してきた指針に沿うという基本的な姿勢で5月7日から遠隔授業を開始し、6月29日からは遠隔授業と対面授業を併用してきました。そのため、これまで当たり前と思っていた対面授業やキャンパス内での諸活動、さらには学生同士や教員との触れ合いが大きく制限され、学生の皆さんには大変なご不便をおかけしたことをお詫びすると共に、前期授業に対するご理解とご協力に改めて感謝いたします。

毎日報道される国内外の感染状況を見ると、この感染症の終息は当分見込めず、長期的な対応が必要とされるようです。ただ、こうした状況の中でも、手をこまねいて事態を静観しているわけにはいきません。感染のリスクを可能な限り減らす対策を講じた上で、学生の皆さんにとって一番大事な授業を展開していく必要があります。この数カ月、人と人が会う価値、人との関わりが日常生活の中でいかに大切で不可欠なものであるかを実感してきたのではないのでしょうか。

国は7月26日と8月6日に、本年度後期授業の実施についての留意点と、学校の新しい生活様式を提示しています。それぞれの生活圏における感染症の蔓延状況により判断する地域ごとの行動基準（レベル3〈高〉～レベル1〈低〉）を示したものです。岩手県はレベル1での「新しい生活様式」を徹底する地域に該当します。

岩手県における今後の感染状況は予断を許しませんが、対面授業の実施にあたっては、状況の変化を見据え、遠隔授業への切り替えが柔軟にできる態勢を準備して進めたいと考えています。

不安があるのは仕方のない状況ですが、今はWith - Coronaの時と受け止めざるを得ません。学生の皆さんは、自分のため、そして周りの人の安全のためにも、感染予防を徹底しながら、一方では積極的な姿勢で「学び」を心掛けてください。

盛岡大学・盛岡大学短期大学部は、今後も感染防止を最優先として、難しい状況下でも授業を継続し、高等教育機関としての社会的責務を果たしていきます。対面授業を実施するにあたり、皆さんには私の意図するところを十分お聞き取りいただき、ご協力を改めてお願いいたします。

なお、後期の授業形態は、地域の今後の感染状況や行政機関からの要請や指示などがある場合に、変更になることがあることをご承知おきください。大学のホームページやメールで定期的にご確認をお願いいたします。